

3. 金融に関する取組

地域金融機関による金融円滑化や地域密着型金融の推進に向けた取組を支援しています。

岐阜県金融懇談会による地域課題解決に向けた取組の深化

- 地域課題解決に向け、岐阜県、金融機関、商工団体等と協働するため「岐阜県金融懇談会」を設置
- 中小企業の人材不足解消に向け、実務クラスで深度ある議論のうえ、サポートプランを策定
- セミナーやワークショップの開催等を通じ、継続的にサポートプランを推進

概要

岐阜県金融懇談会

(平成30年2月～)

全体会議

(代表クラス)

テーマ：
「人材不足」

対応策を検討

取組状況を共有

分科会

(実務クラス)

サポートプランの推進

(実務クラス)

(※) 中小企業の人材不足解消
サポートプラン策定

(※)サポートプランの概要

- 県・市町村・商工団体と金融機関の連携強化
- 事業者の労務環境整備に向けた研修プログラムの構築

【プラン等に基づく取組】

- 分析 (アンケート調査)
- セミナー
- ワークショップ
- 金融懇談会への共有

取組の成果

- 県・労働局の公的支援策の紹介のほか、先進事例の共有や地域特性に応じた対応策の議論など、**継続的にサポートプランを推進し、地域課題解決に向けた取組を一層深化**

《これまでの主な取組》

セミナー (令和元年10月)	県・労働局の人材不足に係る公的支援策の取組を紹介
第1回ワークショップ (元年12月)	地元大学学長を招き、先進的な取組事例の共有や対応策を議論



セミナーの様様



ワークショップの様様

地域の卓越企業発掘 & 育成プログラム

- 近畿財務局が、近畿経済産業局、中小企業基盤整備機構近畿本部及び地域金融機関と連携し、今後成長が期待される企業の発掘・育成や地域金融機関の金融仲介機能の向上を支援するもの。

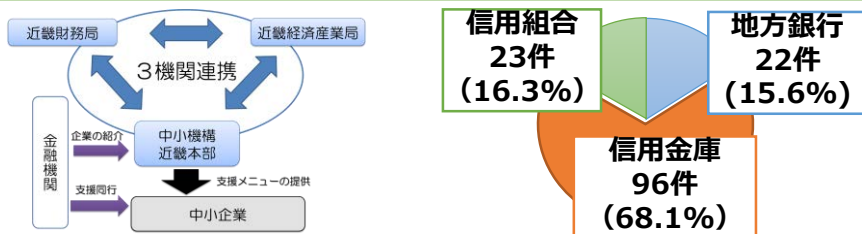
概要

○金融機関に一層の課題解決能力が求められる中、近畿経産局、中小機構近畿本部及び地域金融機関と連携し、地域企業の発掘・育成や金融仲介機能の向上をサポートする「地域の卓越企業発掘 & 育成プログラム」を平成26年度に発足。

○本プログラムにおける支援フローは以下の通り。

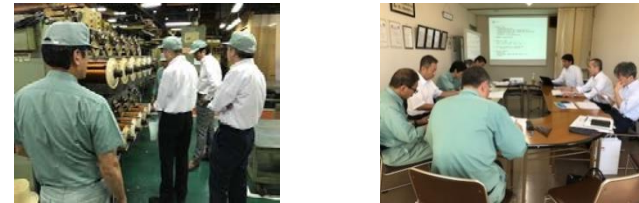
- 金融機関から中小機構へ支援企業の紹介
- 中小機構による企業訪問・支援(金融機関職員が同行することで、金融機関へ支援ノウハウを移転。)

(左)地域の卓越企業発掘 & 育成プログラムにおける支援フロー、
(右)過去の支援実績件数(平成26～30年度)



取組の成果

- 令和元年度の金融機関からの紹介件数：11社(7金融機関)
- 同年度の支援実績：11社(うち、過年度紹介企業5社含む)



○本プログラムでの取組結果や事業承継をテーマに、令和2年2月に「地域の卓越企業発掘 & 育成プログラム 合同セミナー」を開催。事業承継の現場課題や金融機関の役割等について、講演やパネルディスカッション等を通して情報発信した。



財務局と信用金庫・信用組合等との合同勉強会の開催

- ・毎年度バージョンアップしながら、中小企業に対する経営支援のスキル向上などをテーマに、財務局職員と信用金庫・信用組合等の職員との合同勉強会を平成29年度から各県で開催

概要

令和元年度の勉強会テーマ

- 広島：事業承継、中小企業の経営改善支援、内部監査の高度化
- 鳥取：信用金庫の存在意義、取引先の強みを引き出す対話力
- 島根・山口：事業性評価
- 岡山：組織の将来を担う人材育成、内部監査の高度化

より活発な意見交換や資質向上に向けた今年度の工夫

- ①班別討議の材料となる動画制作
財務局が中小企業を訪問して制作したインタビュー動画を勉強会で放映
- ②新テーマでの勉強会を新たに開催
内部監査の勉強会を2県で開催
- ③事前勉強会の拡充
財務局職員向けの事前勉強会の一部について金融機関職員に講師を依頼
- ④参加者の範囲を更に拡大
テーマ等に合わせ労働金庫や金融庁へも参加を呼びかけ



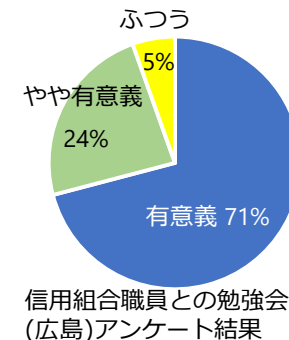
経営支援で地域経済の活性化を！
(広島:Fuku-Biz高村センター長)



内部監査が経営陣に提言を！
(広島・岡山：金融庁 杉山主任統括検査官)

取組の成果

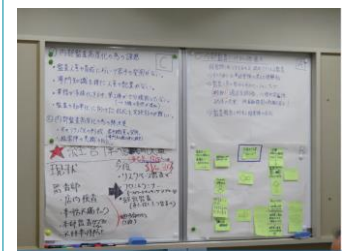
- 参加者のほとんどが「有意義であった」と回答。
- 金融機関参加者から「立場を超えてディスカッションできた」と評価の声。



信用金庫の存在意義を議論(鳥取)



事業性評価の取組について班別討議
(左：山口、右：島根)



内部監査の高度化等について議論(岡山)

今後の展開

中国財務局では、当局職員及び金融機関職員のスキルアップに繋げるため、来年度以降も、勉強会を開催する予定。

地域金融機関と日本政策金融公庫との連携セミナーを開催

- 中国地方で特に深刻な課題である「後継者不足」の解決に向け、事業承継をテーマとした「地域金融機関と日本政策金融公庫との連携セミナー」を開催。
- 当セミナーが、地域金融機関と日本政策金融公庫との連携強化の契機となることで、地域経済の活性化や円滑な事業承継の推進が期待される。

概要

- 中国地方では、後継者不在率の全国ワースト10に管内5県のうち4県が含まれ、後継者不足による廃業の急増が危惧されている。このため、中国財務局独自の取組として、同課題の解決に向け、地域金融機関と日本政策金融公庫との連携強化を目的としたセミナーを開催(11/29)。

セミナー内容

- 日本政策金融公庫より、「地域金融機関と日本政策金融公庫の連携に係る取組み」等について説明。
- M&Aにより事業譲受を行った東洋電装株式会社の桑原社長及び、親族内事業承継を行った天満冷凍機株式会社天満社長が、事業承継をした際に苦労した点、地域金融機関から受けた支援について講演。
- 続いて、パネルディスカッションでは、事業承継を行った経営者お二人に加え、広島県事業引継ぎ支援センター、日本政策金融公庫、広島銀行の担当者のほか、金融庁の参与が登壇し、事業承継支援を行っている機関の取組の現状や課題について、討論した。

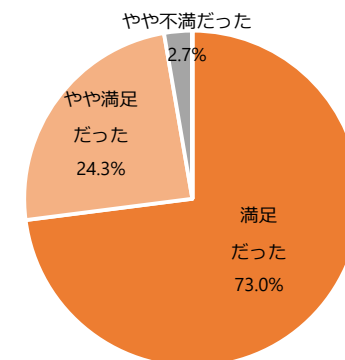
取組の成果

- 広島県内の金融機関等27機関、約50名が参加。



(経営者による事例紹介：左が桑原社長、右が天満社長) (パネルディスカッション)

- セミナー後のアンケートでは、「実際の経営者から事業承継事例を聞くのは初めてであり、参考になった」といった声が寄せられたほか、7割超の参加者から、セミナーの内容について「満足だった」との回答を得た。



- 今後も、地域関係機関との連携を一層強化することにより、事業承継等の地域課題解決のための取組を実施していくこととしている。

地域金融機関と事業承継支援機関の連携促進を後押し

- 福岡財務支局は、金融監督業務を通じて事業承継に係る懸念や不満を含む課題・ニーズを把握
- 円滑な事業承継支援にとって、両機関の相互補完と連携強化が最重要課題の一つ
- 事業承継支援に係る情報・ツールの共有と上記課題の解決を当局が媒介となって後押し

概要

- 福岡財務支局では、地域金融機関に対するアンケートのほか、事業承継支援機関、士業団体、政府系金融機関等にもヒアリングを実施し、事業承継に係る課題やニーズなどを把握。
- アンケートの結果からみると、福岡県事業承継支援ネットワークの取組については、地域金融機関へ十分に浸透していないほか、懸念や不満の声もあるなど、連携状況は区々。
- 以上を踏まえ、地域連携促進の観点から、当局が媒介となり、セミナー等を通じて両機関の事業承継に係る情報・ツールの共有と相互補完や連携強化を後押し。

【福岡県事業承継支援ネットワークの取組】

中小企業の円滑な事業承継に向けた各種支援

- 事業承継ニーズの発掘
- 専門家による支援
- 事業引継ぎ支援センターとの連携
- 支援機関の連携



取組の成果

【当局主催セミナー・意見交換会】

- 開催日時：令和2年1月14日(火)
- 参加機関：地域金融機関(福岡・佐賀・長崎) 事業承継支援ネットワーク及び構成機関(士業団体・政府系金融機関・事業引継ぎ支援センター) 行政機関(各県・九州経済産業局)など 計56名



【参加者の声】

- 両機関の事業承継支援サービスの内容がよく理解できた
- セミナーを契機に地域金融機関との関係深化へ繋がった
- 地域金融機関の協力は不可欠なため、今後は前広に情報を共有することで、連携を強化していきたい

【今後の展開】

- 当局では、引き続き事業承継に係る課題解決のため、幅広く実態把握に努め、両機関と連携していく。
- 事業承継支援ネットワークでは、様々なチャネルを活かし、適切な支援に向けた取組を強化・継続。